

取扱説明書

保証書別添付

日立電気掃除機

型式

シーブイ エスワイ

CV-SY8



ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.4、5)をお読みいただき、正しくご使用ください。

HITACHI

Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

●各部のなまえと組み立てかた	2
●安全上のご注意	4
●使用上のお願い	5

使いかた

●運転のしかた	6
●運転時の機能	7
・本体のランプ	7
●お掃除のしかた	8
・エアークリーナーヘッド	8
・すき間用吸口	9
・あると便利な別売り吸口、部品	10

お掃除が終わったら

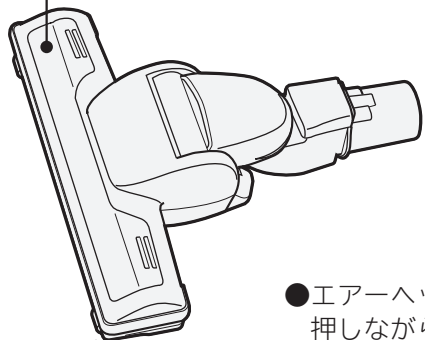
●ごみの捨てかた	11
・ダストケースの取り出しかた	11
・上ふたのストッパーについて	11
・ダストケースのごみの捨てかた	12
①「立体フィルター」のごみの捨てかた	12
②「クリーンフィルター」のごみの捨てかた	13
・ティッシュペーパーの取り付けかた	14
●あとかたづけ	15
・電源コードの巻き取りかた	15
・収納のしかた	15
●吸込力が弱くなったら	16
●お手入れのしかた	17
・本体・標準付属品・付属応用部品	17
・エアークリーナーヘッド	17

こんなときは

●故障かなと思ったら	19
●保証とアフターサービス	22
●別売り部品	23
●仕様	24

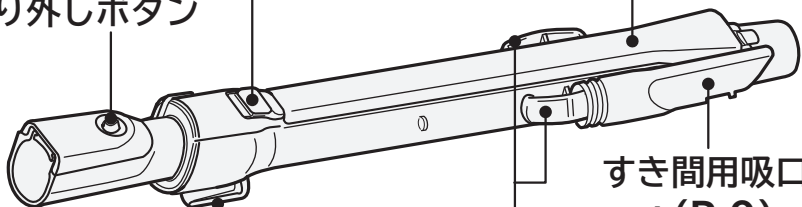
各部のなまえと組み立てかた

エアーヘッド
→(P.8、9、17、18)



スライドつまみ→(P.6)

取り外しボタン



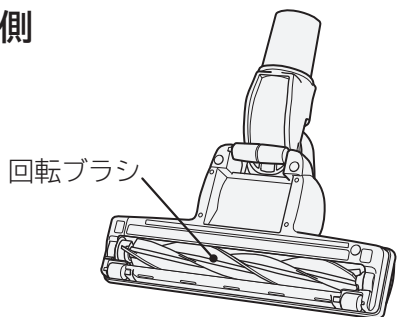
延長管

すき間用吸口
→(P.9)

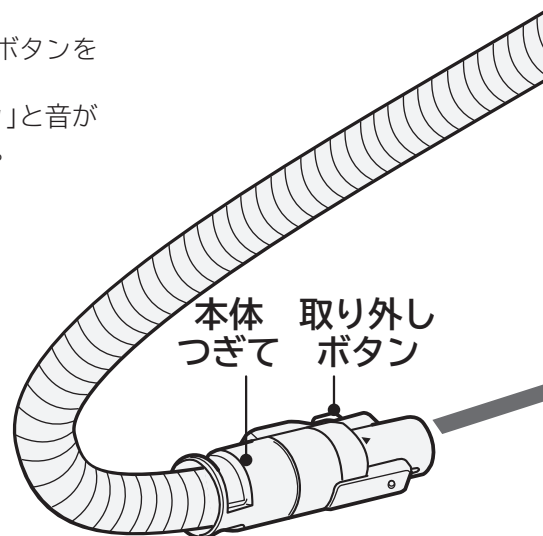
ホーススタンド→(P.15) フック→(P.9)

- エアーヘッド、延長管を外すときは、取り外しボタンを押しながら抜いてください。
- エアーヘッド、延長管の取り付けの際、「カチッ」と音がしないことがありますが、異常ではありません。

裏側



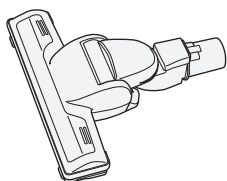
回転ブラシ



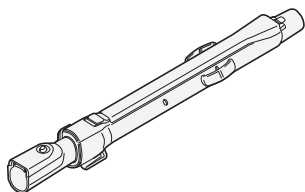
本体 取り外し
つぎて ボタン

標準付属品

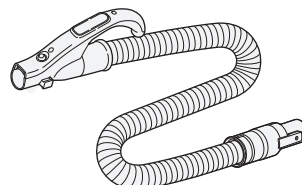
エアーヘッド (1個)
(パワフルエアーヘッド D-TM45)



延長管 (1本)
(ワンタッチズームパイプ)

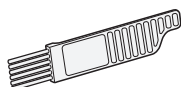


ホース (1本)

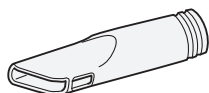


付属応用部品

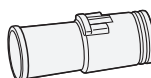
お手入れブラシ (1個)
(ダストケース側面に
取り付けられています)



すき間用吸口 (1個)
→(P.9)



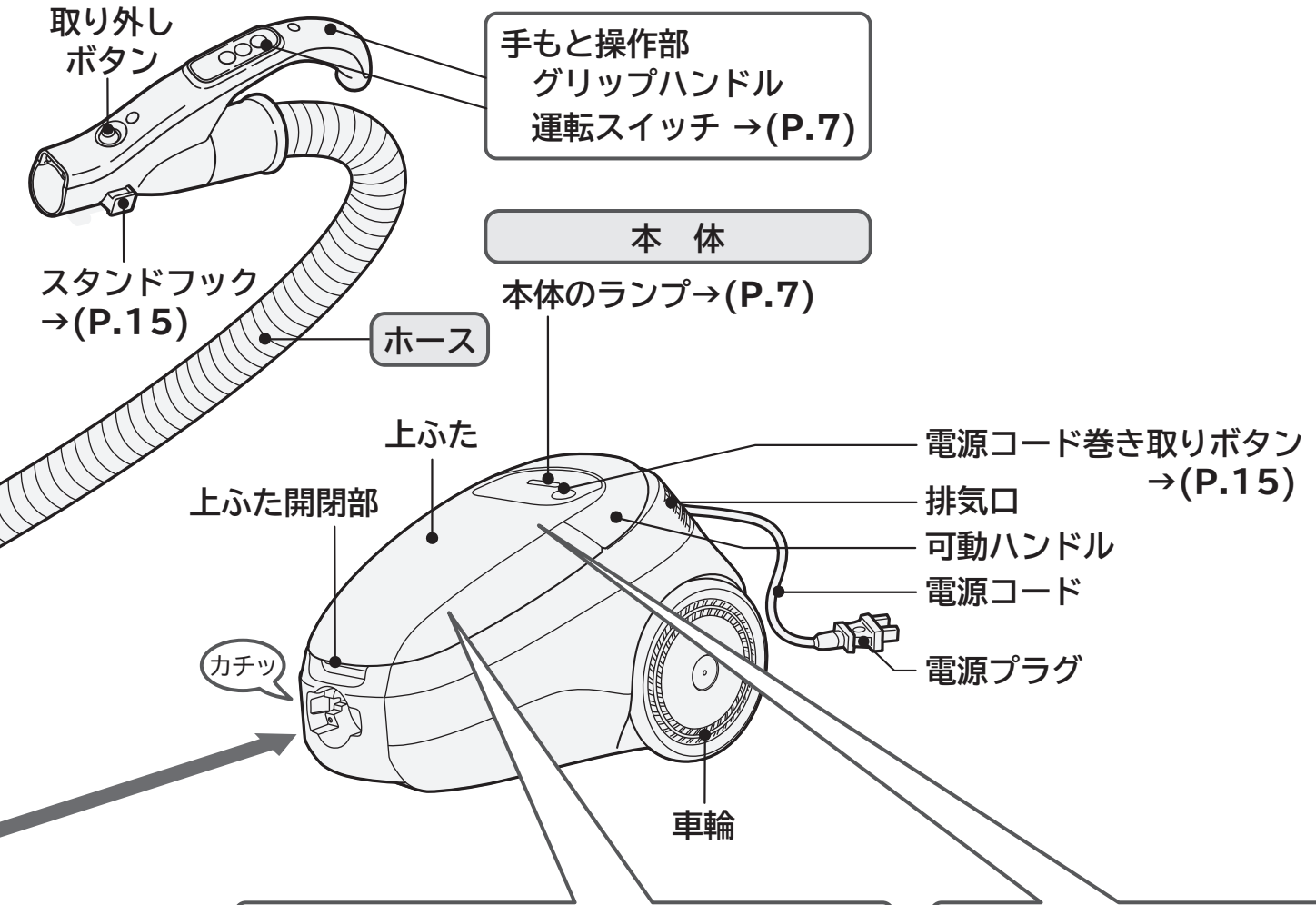
別売り部品接続用
アタッチメント (1個)
→(P.10)



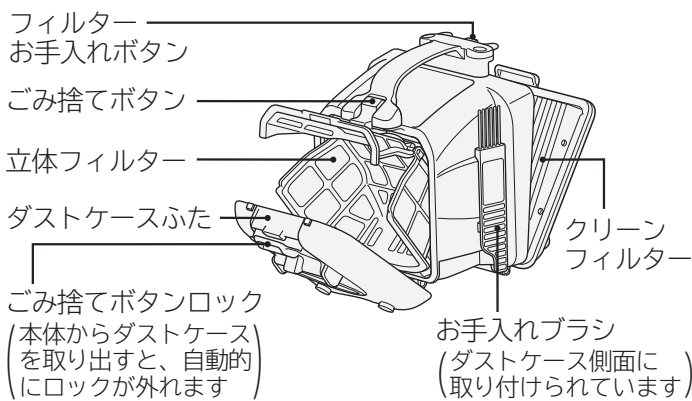
ティッシュペーパー (1枚)
→(P.14)
(ダストケースに
取り付けられています)



●標準付属品と付属応用部品は、個別にお買い求めいただけます。お買い上げの販売店にご相談ください。



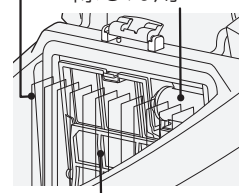
ダストケース →(P.11~14,16)



フィルターお手入れ機構

電源コードを引くと、フィルターカバー(ビートパネル)が振動し、クリーンフィルターに付着した微細なごみを落として目詰まりを抑えます。

クリーンフィルター
除じん用ローラー



フィルターカバー(ビートパネル)

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

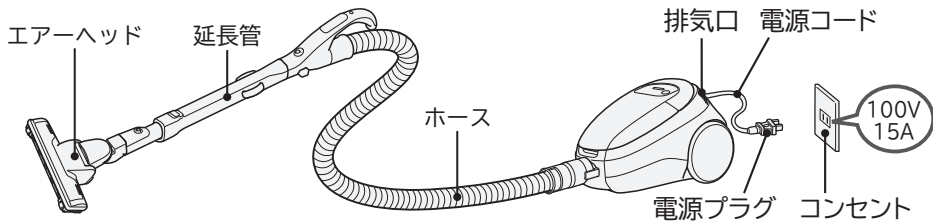
注意 この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明

「警告や注意を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」内容のものです。

必ず実行していただく「指示」内容のものです。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

- ・スイッチを押しても、運転しない
- ・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・運転中、時々止まる
- ・運転中、異常な音がする
- ・本体が変形したり、異常に熱い
- ・ホースが破れている
- ・こげくさい“におい”がする
- ・その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

コンセント・電源プラグ・電源コード

- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る
- 電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない〕
- 傷んだ電源コード・電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- 電源コードを回転ブラシに巻き込まない
- ぬれた手で抜き差ししない

火災・感電の原因となります。

エアーヘッド(吸込口)

- 回転ブラシには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。

そのほか

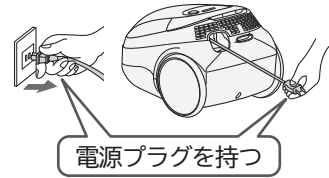
- 引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
- 先端が尖ったものを吸わせない(押しピン、針、つまようじなど)
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものを吸わせない
- 改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない
- 水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)
爆発・火災・感電・けがの原因となります。

⚠ 注意

コンセント・電源プラグ・電源コード



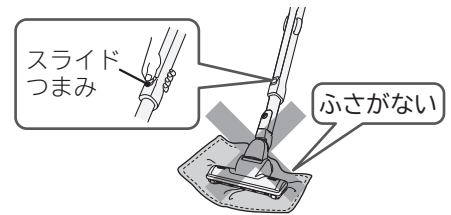
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・発火の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに
先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火
することがあります。
- 電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ
電源プラグが当たってけがをすることがあります。
運転終了直後は、電源プラグの刃先が熱くなることがあり、やけどのおそれがあります。
- 電源コードは、水平に引き出す
上方向に引き出すと、本体とのこすれにより電源コードが破損して感電・発火の原因となります。



エアヘッド(吸込口)



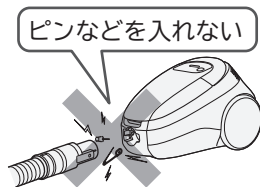
- 運転中に吸込口をふさいで、スライドつまみを
スライドさせない
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
- 吸込口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。



ホース



- ホース差し込み口の接点にピンなどを入れない
ショート(短絡)して感電・発火の原因となります。



排気口



- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- 排気口から出る風を、長時間体に当てない
低温やけどをすることがあります。



その他



- 火気に近づけない
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。
- ダストケースを取り外したまま、電源コードを引き出さない
除じん用ローラーやフィルターカバー(ビートパネル)で手などをけがすることがあります。

使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。

また、本文中の **お願い** 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

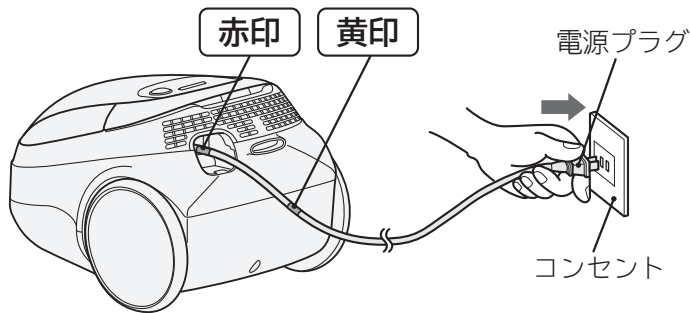
- 電源コードは赤印以上無理に引き出さない
断線の原因となります。
- エアヘッド、延長管、ホースを強くぶつけない
破損の原因となります。
- ホースや延長管の先端で掃除しない
接触不良や破損の原因となります。
- 持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない
ホースの破損の原因となります。
- 本体に乗らない
故障の原因となります。
- 次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉 ・長いひも ・ガラス
- 水洗いした部品は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

1

電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出すと、「フィルターお手入れ機構」が作動します。→(P.3)



- フィルターお手入れの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
- 電源コードを引き出すとき・巻き取るときのカタカタ音は「フィルターお手入れ機構」の音です。異常ではありません。
- 電源コードを巻き取るときは、フィルターお手入れをしません。

⚠ 警告

火災のおそれあり
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用にならないでください。

⚠ 注意

けがのおそれあり
●ダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。除じん用ローラーの回転やフィルターカバー(ビートパネル)の振動で、手などをけがすることがあります。

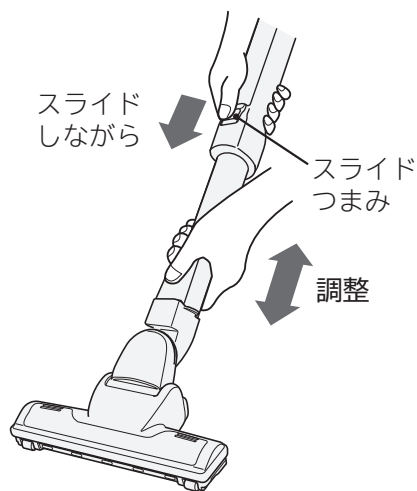
お願い

●電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。

2

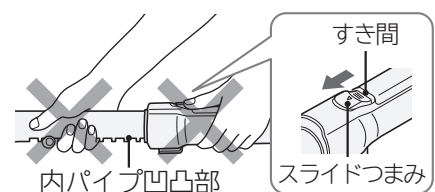
延長管の長さを調節する

スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる



⚠ 注意

けがのおそれあり
●運転中に吸込口をふさいでスライドつまみをスライドさせないでください。延長管が急に縮むことがあります。
●掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。また、延長管を伸縮させるときは、スライドつまみと延長管のすき間に手などを押しつけないでください。手を挟むことがあります。



3 運転スイッチを押す

強 じゅうたんの念入りなお掃除に

弱 フローリング、畳などのお掃除に静かにお掃除したいときに

標準 普通のお掃除に

●「強/弱」スイッチは、押すごとに「強」→「弱」→「強」の順に切り替わります。



運転を止めたいときに

注意

けがのおそれあり

●吸込口をふさいで、「強/弱」スイッチや「標準」スイッチを押さないでください。
ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

運転時の機能

本体のランプ

点滅 ごみ捨てのお知らせ(目安)です。
→(P.11~14)

点灯 フィルターお手入れのお知らせ(目安)です。→(P.16)

●「弱」運転のときは、点滅/点灯しません。

HITACHI CV-SY8
ごみ捨て フィルターお手入れ
点滅 点灯
Comi Dash CYCLONE
本体のランプ

こんなときは

ごみがいっぱいでも「本体のランプ」が点滅/点灯しない

- 綿ごみなどが多いとき
お掃除が終わったら「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

ごみが少なくても「本体のランプ」が点滅/点灯する

- 細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせるとき
ごみ捨て/フィルターのお手入れをしてください。→(P.11~14、16)
- 毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、すき間用吸口をご使用のとき
吸込風量が少なくなっています。吸込口を掃除面から離し、「本体のランプ」の点滅が消灯すれば、そのままご使用いただけます。
- ティッシュペーパーを取り付けたとき
ごみ捨て/フィルターのお手入れをしてください。→(P.11~14、16)
- 延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用のとき
電源電圧が低下することがあります。定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。
- 「本体のランプ」が点滅したまま運転を続けたとき
「本体のランプ」が点灯することがあります。
このようなときは、「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

お掃除のしかた

エアヘッド

- エアヘッドを前後に動かしたり、床面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん

- 前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。
- 初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。

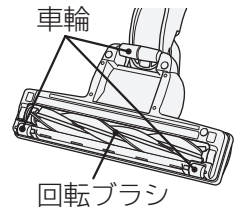
フローリング・畳

- 床面の傷つき防止のため、フローリングや畳の目にそって動かします。
- エアヘッドを手前に引いたとき、床面にほこりが残る場合は、エアヘッドを一度持ち上げて吸い取ってください。

⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

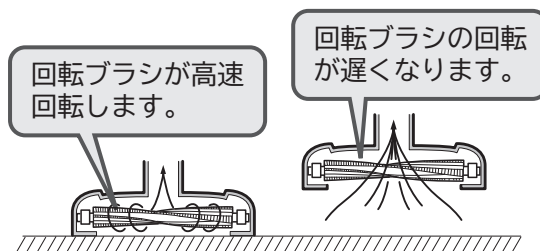
- 特にひのきやクッションフロア※などの傷つきやすい床の場合、運転中はエアヘッドを同じ位置に止めたままにしないでください。また、エアヘッドを床面に強く押しつけないでください。
 - 車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、磨耗と床傷つけの原因となります。定期的にお手入れしてください。→(P.17)
 - 車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。→(P.22)
- ※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のある床材のことです。



- お願い** ●床面の種類によっては、操作が重くなる場合があります。このようなときは、「弱」運転に切り替えてください。

■エアヘッドの回転ブラシ

- エアヘッドを持ち上げたときは、静かにするため回転ブラシの回転が遅くなります。(止まる場合もあります)



⚠ 警告

けがのおそれあり

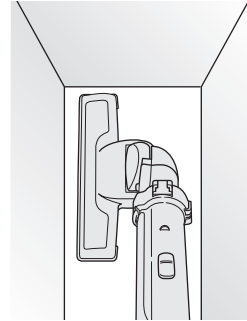
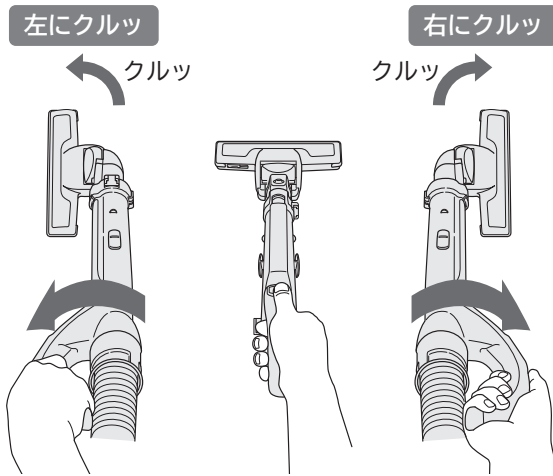
運転中はエアヘッドの回転ブラシに触れない

- 巻き込まれるおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

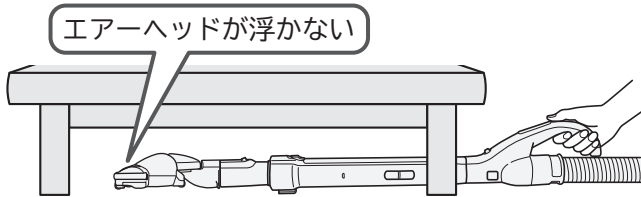
- お願い** ●じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが回転しにくくなる場合があります。このようなときは、「強」運転に切り替えてください。
- 薄いカーペットなどが吸いついて、ごみが取れにくいときは、カーペットの隅を押さえ、吸いつかないようにしてお掃除してください。
 - 回転ブラシは床・畳上でも回転します。

■クルッとヘッド・パタリンコ構造

- グリップハンドルをひねると、エアーヘッドの向きがクルッと変わり、すき間などの狭い場所もスムーズにお掃除できます。



- ベッドの下など低い場所(8cm以上)でも奥までしっかりお掃除できます。



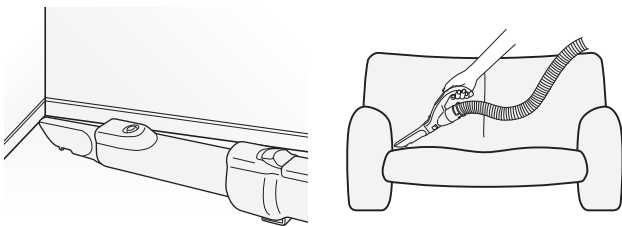
⚠ 注意

床面に傷を付けるおそれあり

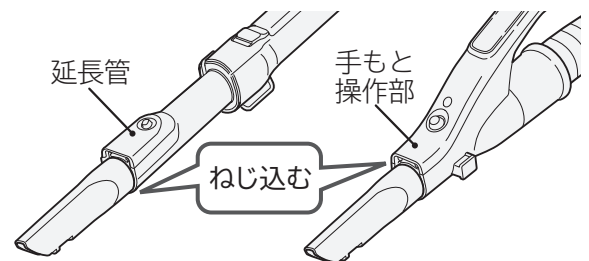
- 車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
→(P.22、23)

すき間用吸口

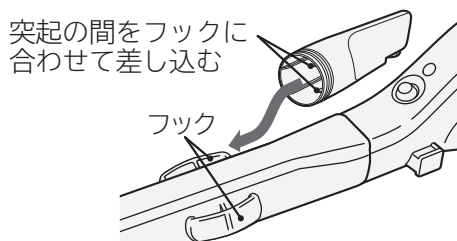
- 狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。
お部屋の隅のお掃除に ソファの隅などのお掃除に



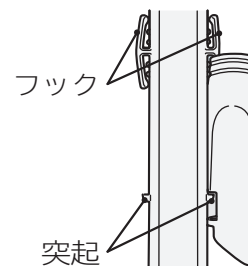
- 延長管が手もと操作部にねじ込んでご使用ください。



- 左右いずれかのフックに差し込んで収納します。



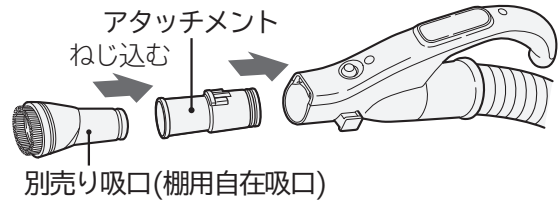
- 下側に取り付けるときは、図の向きに取り付けると落ちにくくなります。



お掃除のしかた(続き)

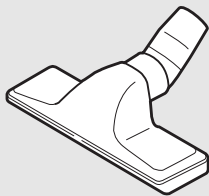
あると便利な別売り吸口、部品

- 付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、別売りの吸口が使えます。→(P.23)
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に取り付けてご使用ください。



ふとん用吸口(G-52)

ふとんを傷めず、ダニ・ほこり・糸くずなどを吸い取る吸口です。
(「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。



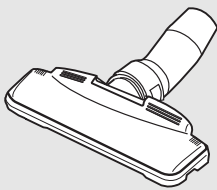
はたき吸口(D-H3)

はたき感覚で、エアコン、ブラインド、家具などをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。



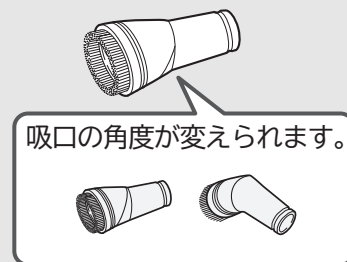
丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

フローリング、畳に適した大きめのふき専用
ブラシ付きの吸口です。
(「標準」「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。



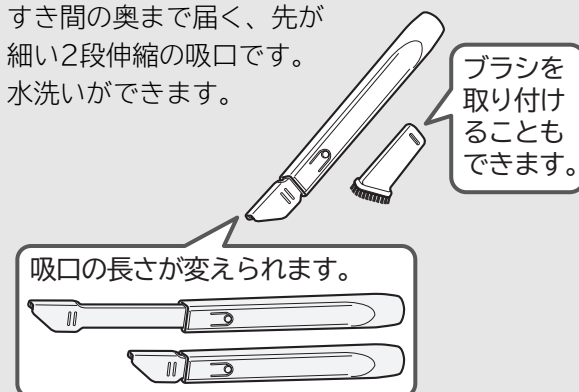
棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などをお掃除する
吸口です。
水洗いができます。



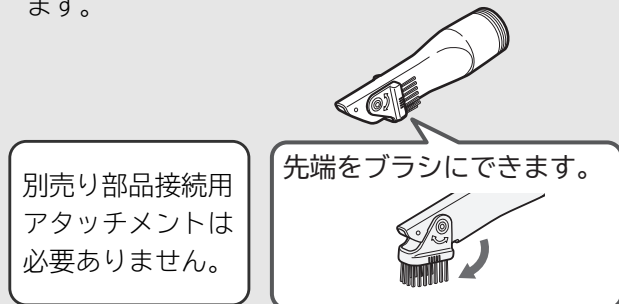
伸縮すき間用吸口(D-SH2)

すき間の奥まで届く、先が
細い2段伸縮の吸口です。
水洗いができます。



クルッと切替えブラシ吸口

狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。
お掃除する場所に合わせて、先端をブラシにでき
ます。



ごみの捨てかた

●サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらぬ」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくために、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

お掃除が終わったら、ダストケースを取り出し、

①「立体フィルター」と②「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。→(P.12、13)

●本体のランプで、ごみ捨ての目安をお知らせします。→(P.7)

●ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。→(P.14)



警告

感電・けがのおそれあり

●ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

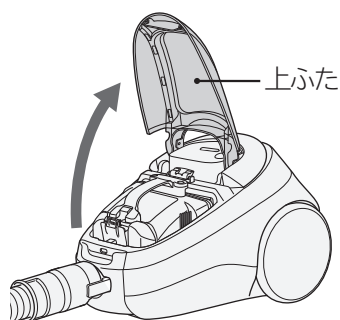
お願い

●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

ダストケースの取り出しかた

1

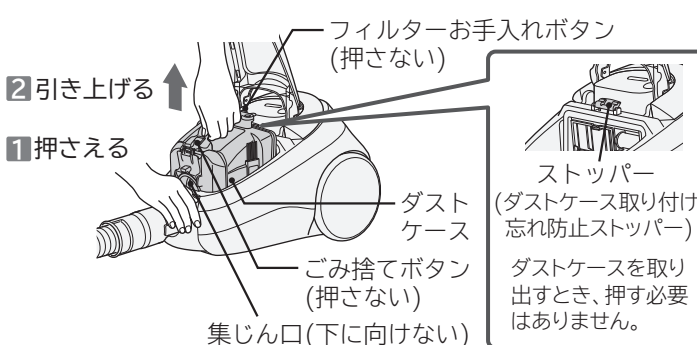
本体を横にして、上ふたを開ける



2

ダストケースを取り出す

① 本体の前側を手で押さえる ② まっすぐ引き上げる



お願い

●ダストケースを取り出すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押さないでください。ごみがこぼれる場合があります。本体にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元どおりダストケースを取り付けてください。

●ダストケースを持つときや置くときは、集じん口を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。

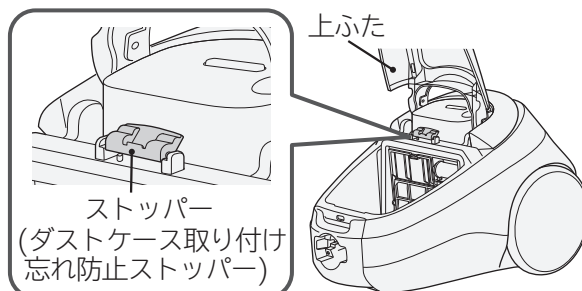
●ダストケースを取り付けるときは、ダストケースを奥まで入れてください。ダストケースが取り付けられていない状態や、奥まで入っていない状態では、上ふたが閉まりません。

●ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音がすることがあります。ダストケースはしっかり奥まで入れてください。

上ふたのストッパーについて

●ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。ダストケースを取り付けてから上ふたを閉めてください。

●ダストケースが取り付けられていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたやストッパーが破損するおそれがあります。



ごみの捨てかた(続き)

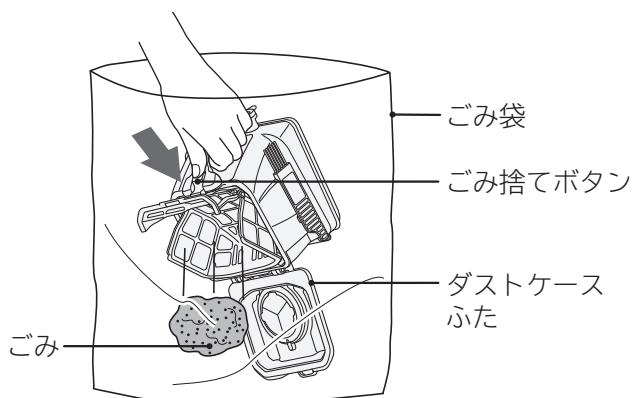
ダストケースのごみの捨てかた

①「立体フィルター」のごみの捨てかた

1

ごみを捨てる

ダストケースを大きめのごみ袋に入れ、ダストケースふたを下方に向けてごみ捨てボタンを押す



⚠ 警告

けがのおそれあり
ごみを捨てる時は、ダストケース下部を持たない
●手を挟むおそれがあります。

🙏 お願い

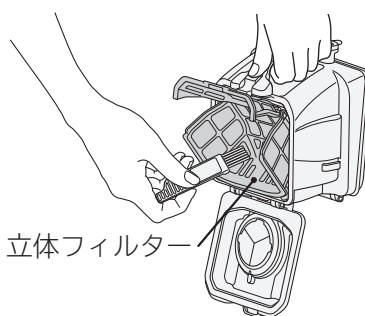
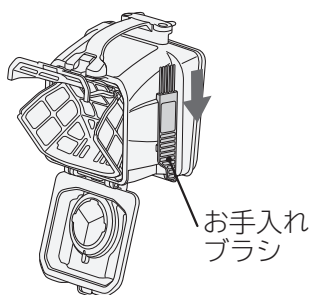
●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2

付着したごみを取り除く

① ダストケース側面に取り付けられているお手入れブラシを取り外す

② 立体フィルターの目詰まりを取り除く



⚠ 注意

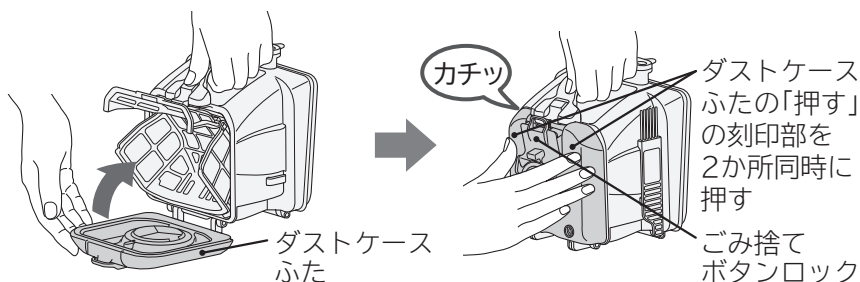
けがのおそれあり
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

●立体フィルターは取り外してお手入れできます。
→(P.16)

3

ダストケースふたを閉める

「カチッ」と音がするまで閉める



●ごみ捨てボタンロックを押してダストケースふたを閉めようとしても閉まりません。

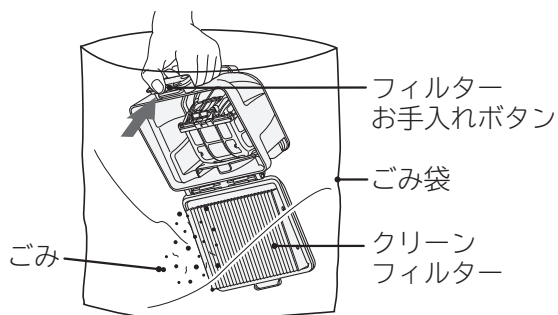
②「クリーンフィルター」のごみの捨てかた

1

ごみを捨てる

ダストケースを大きめのごみ袋に入れ、
クリーンフィルターを下方に向けてフィルター
お手入れボタンを押す

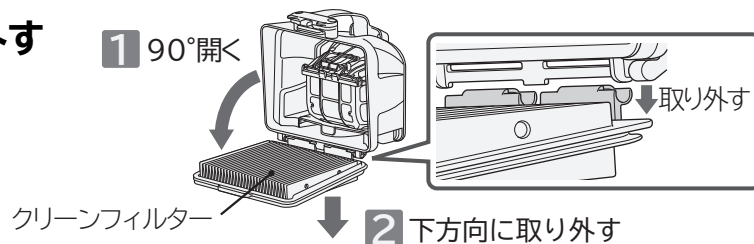
- クリーンフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。



2

クリーンフィルターを取り外す

① 90°開く



3

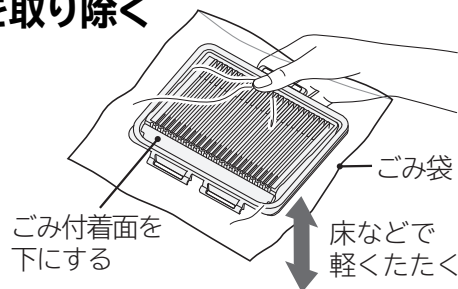
クリーンフィルターのひだの奥にたまったごみを取り除く

クリーンフィルターをごみ袋に入れ、床などで軽く
5回程度たたいて奥にたまったごみを取り除く

⚠ 注意

傷を付けるおそれあり

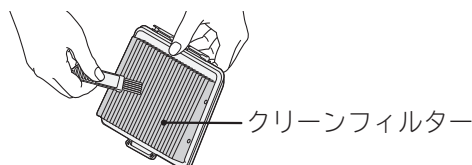
- 床に傷が付くおそれがある場合は、新聞紙などを厚めに敷いてください。



4

付着したごみを取り除く

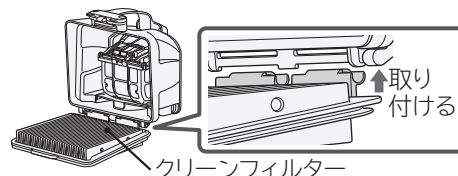
クリーンフィルターの表面に付着したごみ
お手入れブラシで取り除く



5

クリーンフィルターを取り付ける

取り外した逆の手順で取り付ける



6

クリーンフィルターを閉め、お手入れブラシを取り付ける

① 「カチッ」と音がするまで閉める

② ダストケース側面にお手入れブラシを取り付ける

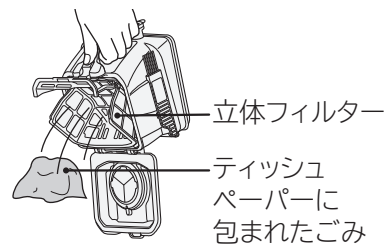


- お願い** ●お手入れブラシがダストケース側面にしっかり取り付けられていない状態でダストケースを取り付けて運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音することがあります。お手入れブラシは、ダストケース側面に奥までしっかり取り付けてください。

ごみの捨てかた(続き)

ティッシュペーパーの取り付けかた

- ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。
- ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがありますが無異常ではありません。

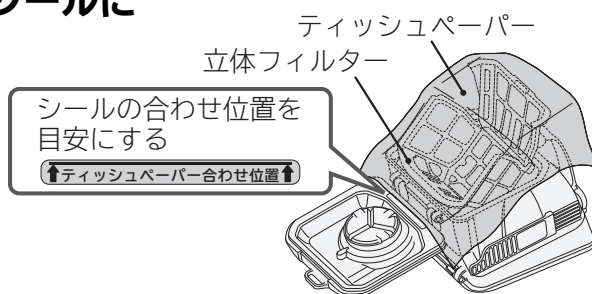


お願い

- ティッシュペーパーは、一辺の長さが20cm程度で2枚重ねのものをご使用ください。
- ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
- 立体フィルターにごみが付着している場合は、付属のお手入れブラシで取り除いてください。

1

ティッシュペーパーを広げ、下端をシールに合わせて、立体フィルターにのせる

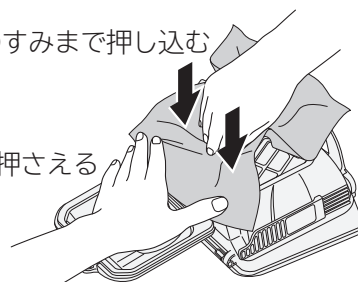


2

立体フィルターの内側にそわせて、ティッシュペーパーを奥まで押し込む

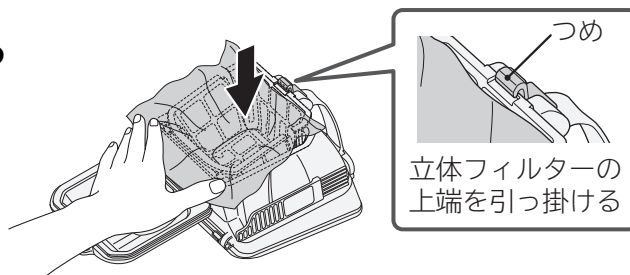
奥のすみまで押し込む

手で押さえる



3

立体フィルターをそっと押し込み、ごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける



4

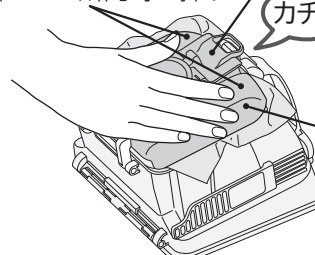
ダストケースふたを閉める

- ティッシュペーパーはダストケースからはみ出したままで問題ありません。
- ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が15W程度下がります。
- ごみ捨てボタンロックを押してダストケースふたを閉めようとしても閉まりません。

ダストケースふたの「押す」刻印部を2か所同時に押す

カチッ

ダストケースふた



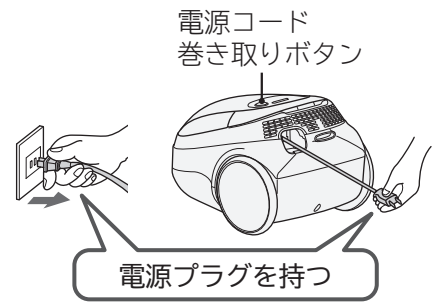
あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

- 電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部 (⊕) を押しながら、電源コードを巻き取ってください。
- 電源コードを引き出すとき・巻き取る時のカタカタ音は「フィルターお手入れ機構」の音です。異常ではありません。
- 電源コードを巻き取る時は、フィルターお手入れをしません。

⚠ 注意 けがをする・家具に傷を付けるおそれあり

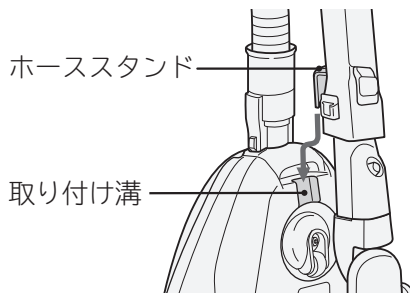
- 電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取る時は、電源プラグを持ってください。



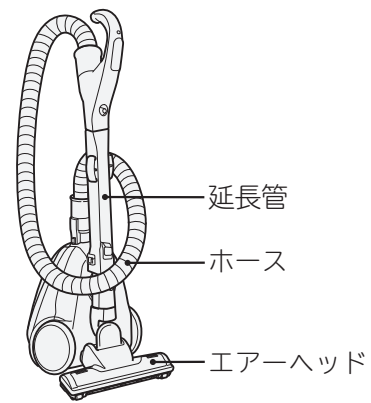
収納のしかた

1 延長管を縮めて→(P.6)、取り付け溝にホーススタンドを差し込む

エアヘッドの底面が右図(手順2)のように床面から浮いていない状態にします。

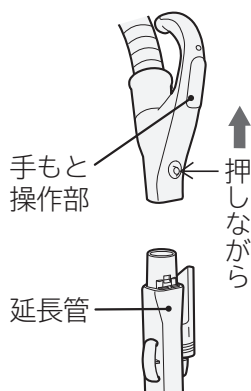


2 ホースを延長管に巻きつける

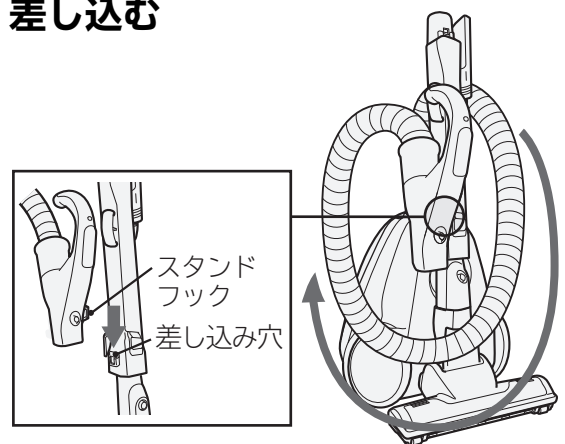


さらにコンパクトに収納したいとき

1 手もとと操作部を延長管から外す→(P.2、3)



2 ホースを延長管に巻きつけて、差し込み穴にスタンドフックを差し込む



⚠ 注意 けがのおそれあり

- 収納状態のまま持ち運ぶと、ホース・延長管やエアヘッドが外れることがあります。

お願い

- ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。ホースの変形や故障の原因となります。
- ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

吸込力が弱くなったら

ごみを捨てても「吸込力が回復しない」、「本体のランプが点灯した」ときは、各フィルターを水洗いしてください。

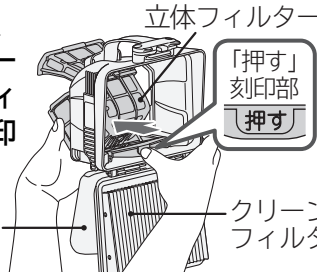
●水洗い後は、十分に自然乾燥させてから取り付けてください。クリーンフィルターの乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

立体フィルター

1 立体フィルターを取り外して水洗いする

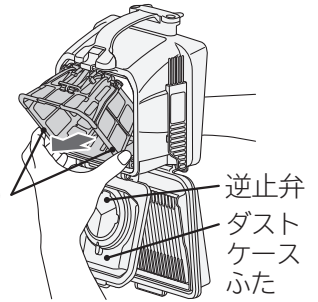
1 ダストケースふた、クリーンフィルターを開けて、立体フィルターの「押す」刻印部を指で押す

ダストケースふた



2 立体フィルターを取り外し、水洗いする

立体フィルターの枠を持ち、ダストケースふた側から引き出す



⚠ 注意

けがのおそれあり

- 立体フィルターを取り外すときは、「押す」刻印部を押してください。
- ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

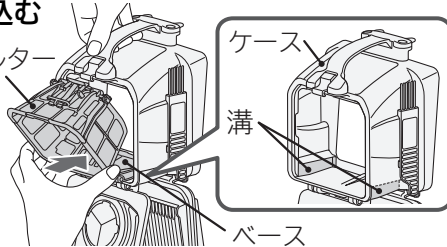
🙏 お願い

- 立体フィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因となります。
- 逆止弁を引っ張らないでください。破損の原因となります。

2 立体フィルターを取り付ける

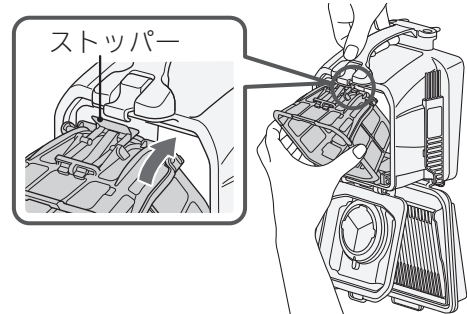
1 立体フィルターのベースをケースの溝に差し込む

立体フィルター



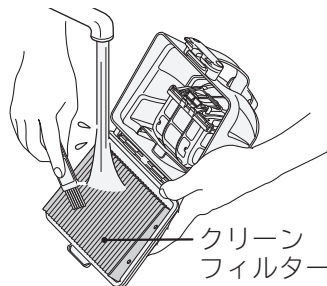
- ケースの汚れが気になるときは、水洗いしてください。

2 立体フィルターのストッパーを押し込む



クリーンフィルター

- ひだの奥にたまったごみを水で流してください。
- 取り外してお手入れすることもできます。→(P.13)
- 水洗い後は十分に自然乾燥させてください。



フィルター(抗菌加工)

1 フィルターカバーを取り外し、フィルターを取り出す



2 水で軽く押し洗いする
●たたいて水気を切り、自然乾燥させます。



🙏 お願い

- 洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。
- 付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。
- 付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。
- 各フィルターを水洗い後は十分に自然乾燥させてから取り付けてください。ぬれたままご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。
- ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因となります。
- 各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルターなどの劣化が考えられます。取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.22、23)

お手入れのしかた



警告

感電・けがのおそれあり

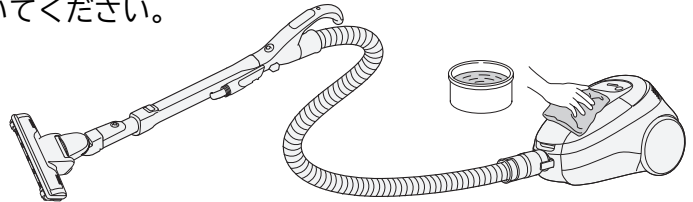
●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体・標準付属品・付属応用部品

- 汚れが気になるときはお手入れしてください。
水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

お願い

●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。
ひび割れや変色の原因となります。



エアーヘッド

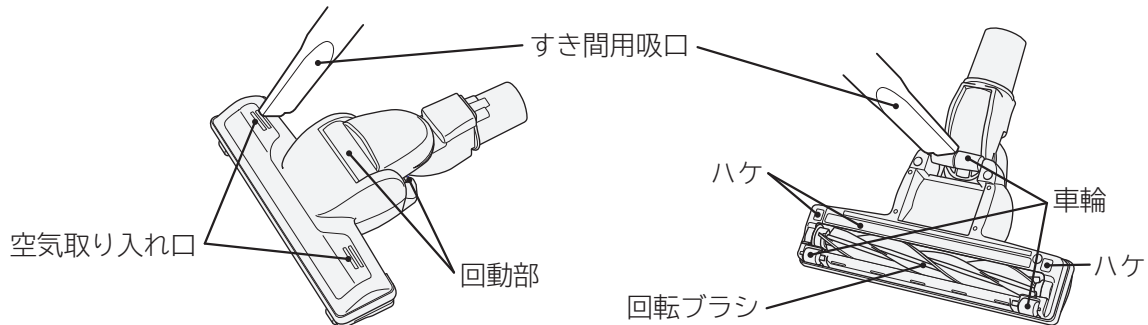
- 吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
- 定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。
回転ブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、回動部にゴミが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い

●エアーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

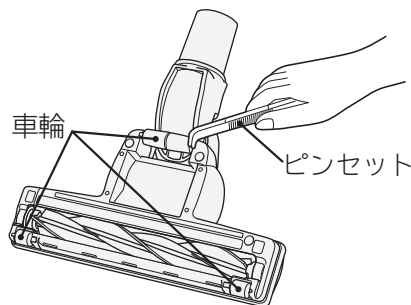
付着したゴミを取り除く

付着したゴミを、すき間用吸口を使って吸い取ってください。



絡みついたゴミを取り除く

絡みついたゴミを、ピンセットなどで取り除いてください。



注意

床面に傷を付けるおそれあり

- 車輪にゴミが絡みつくと、車輪が回転できず、磨耗と床傷つけの原因となります。
- 車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
→(P.22)

吸込力が弱くなったら

お手入れのしかた

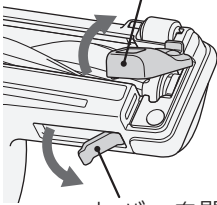
お手入れのしかた(続き)

エアヘッドを水洗いする

1 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

1 エアヘッドを裏返してレバーを開き、
ブラシホルダーを取り外す

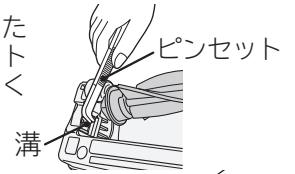
ブラシホルダーを取り外す



レバーを開く

2 回転ブラシを取り外す

溝に絡みついた
ごみはピンセット
などで取り除く



溝

回転ブラシに絡
みついたごみは
ハサミなどで
切って取り除く

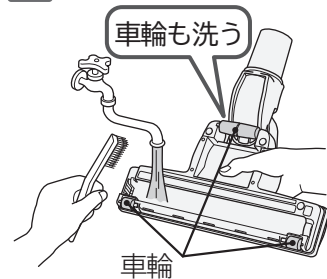


ハサミ

●回転ブラシは水洗いできます。

2 エアヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシを水洗いし、水気を切る

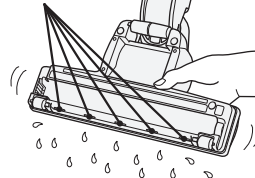
1 各部品を洗う



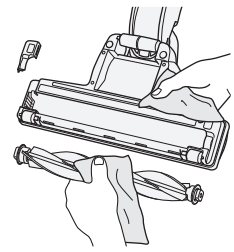
車輪

2 水抜き穴を下にし、エア
ヘッドを振って水気を切る

水抜き穴



3 乾いた布で水気をふき取る



お願い

●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

また、毛のかたいブラシで洗わないでください。

●水洗い後は陰干しにして、十分に自然乾燥させてください。

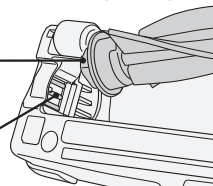
ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。

3 エアヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシが乾燥したことを確認し、 回転ブラシを取り付ける

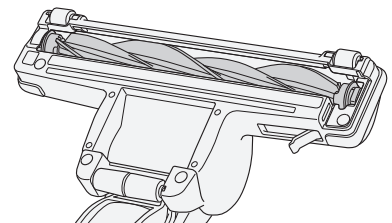
1 回転ブラシの軸受部(黒側)を溝に合わせる

軸受部
(黒側)

溝



2 元どおり取り付ける



お願い

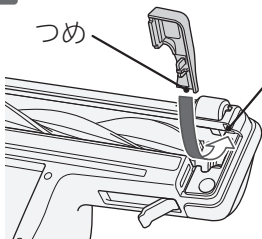
●軸受部には注油しないでください。

4 ブラシホルダーを取り付ける

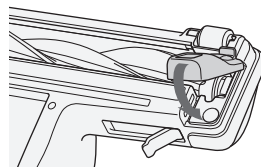
1 つめを溝に合わせる

つめ

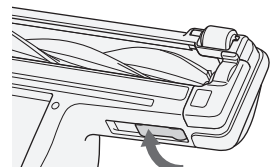
溝



2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める



お願い

●ブラシホルダーを取り付ける際には、つめを先に引っ掛けてください。破損の原因となります。

故障かなと思ったら

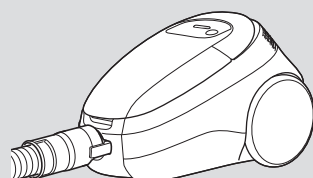
修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない

保護装置が作動している場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。

本体が運転できない



保護装置と原因

本体モーターの過熱を防ぐために、自動的に電力を抑える保護運転になることがあります。
さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

クリーンフィルターの
ごみ詰まり

吸込口をふさいだ
ままの運転

ホース・延長管の
ごみ詰まり

お手入れのしかた

直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

ごみ捨て/フィルターの
お手入れをする

〈P.11~14,16〉

吸込口をふさいでいるものを
取り除く

ホース・延長管に
詰まったごみを取り除く

故障かなと思ったら

約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

故障かなと思ったら(続き)

■その他の症状

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	立体フィルターとクリーンフィルターのゴミを捨ててください。	P.11 P.14
	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.16
	延長管、ホース、本体つぎてにごみが詰まっていますか。	ゴミを取り除いてください。	—
	エアーヘッドにごみが詰まっていますか。	ゴミを取り除いてください。	P.17 P.18
	延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが点滅/点灯する場合があります。 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。		—
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●エアーヘッドを押しついたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●すき間用吸口をカーテンなどに押しついたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後、エアーヘッドは力を入れず、すばらせるように軽く動かしてください。	—
	延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントを使用していませんか。	定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。	—
本体が運転しない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	しっかり差し込んでください。	P.6
	本体にホースが確実に差し込まれていますか。	「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.2 P.3
排気や本体があたかくなる(特に夏場)	空気の流れて本体モーターを冷却しているため、異常ではありません。		—
排気から異臭が出る	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.16
	水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.16

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
エアーヘッドの回転 ブラシが回転しない または回転しにくい	本体、ホース、延長管、エアーヘッド などがしっかり接続されていますか。	しっかりと接続してください。	P.2 P.3
	エアーヘッドが床面から浮いていま せんか。	床面から浮かせると遅くなる構造に なっています。エアーヘッドを床面 につけてください。	P.8
	回転ブラシ、空気取り入れ口など にごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	P.17 P.18
	空気の流れで回転ブラシが回転しているため、吸込力が弱くなると回転 ブラシが回転しない、または回転しにくくなります。 このようなときは、「吸込力が弱い」を確認してください。		P.20
ダストケース付近か ら「ピー」という異音 が出る	本体にダストケースが確実に取り付 けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	—
	ダストケース側面にお手入れブラシ が確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	P.13
電源コードが全部入 らない、または引き 出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。 電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを「巻き取る」「引き出す」 操作を数回繰り返してください。そのあと、黄印まで引き出してよじれを直して から、もう一度巻き込んでください。		—
上ふたが閉まらない	本体にダストケースが確実に取り付 けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	—
ティッシュペーパー が破れる	ティッシュペーパーの種類は適切な ものですか。	一辺の長さが20cm程度で2枚重ね のものをご使用ください。	P.14
	立体フィルターに確実に押し込まれ ていますか。	立体フィルターの内側にそわせて、 確実に奥まで押し込んでください。	P.14
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い 上げの販売店へご相談ください。	P.22

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書 (別添)

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みあとの、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障および損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車両(車載用を除く)、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。 [持込修理対象商品]
保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼される時は (持込修理)

「故障かなと思ったら」→(P.19~21)をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご持参ください。

- 修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、エアークラップ)も一緒に持参ください。

お知らせいただきたい内容

1.型式: CV-SY8 2.症状: できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

長時間ご使用になるとき

- 一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同(寮など)でご使用になる場合には、短期間で部品の交換(エアークラップやモーターなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用になることをおすすめします。
- このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居される時

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

愛情点検



長年ご使用の掃除機の点検を!

ご使用の際、このような症状はありませんか?

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がある
- 本体が変形したり、異常に熱い
- ホースが破れている
- こげくさい“におい”がする
- その他の異常がある

ご使用中止

事故防止のため、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

修理に関するご相談は
エコセンターへ

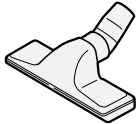


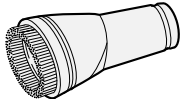
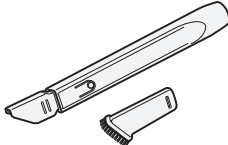
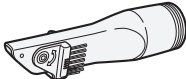

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

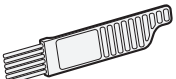

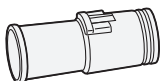
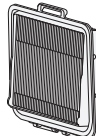
- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

<p>ふとん用吸口(G-52)</p>  <p>希望小売価格 1,700円(税別)</p>	<p>はたき吸口(D-H3)</p>  <p>希望小売価格 3,800円(税別)</p>	<p>丸洗いフローリングヘッド(D-F3)</p>  <p>希望小売価格 5,000円(税別)</p>
<p>棚用自在吸口(D-TJ2)</p>		<p>伸縮すき間用吸口(D-SH2)</p>
 <p>希望小売価格 1,200円(税別)</p>		 <p>希望小売価格 1,600円(税別)</p>
<p>クルッと切替えブラシ吸口</p>		<p>サッとハンドル</p>
 <p>サービスパーツ CV-PL8-009 クルッと切替えブラシ吸口 とご指定ください</p> <p>希望小売価格 1,000円(税別)</p>		 <p>サービスパーツ CV-SM8-008 サッとハンドルSM8 とご指定ください</p> <p>希望小売価格 1,000円(税別)</p>

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

<p>お手入れブラシ</p>  <p>サービスパーツ CV-SK20-001 お手入れブラシSK とご指定ください</p> <p>希望小売価格 400円(税別)</p>	<p>すき間用吸口</p>  <p>サービスパーツ CV-SJ10-030 すき間用吸口 とご指定ください</p> <p>希望小売価格 300円(税別)</p>
<p>別売り部品接続用アタッチメント</p>	<p>クリーンフィルター</p>
 <p>サービスパーツ CV-SM10-033 アタッチメント(SM) とご指定ください</p> <p>希望小売価格 300円(税別)</p>	 <p>サービスパーツ CV-SY7000-007 BフィルターSY とご指定ください</p> <p>希望小売価格 1,000円(税別)</p>

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

電 源	100V 50-60Hz共用	本体寸法	長さ330mm×幅255mm×高さ219mm
消費電力	1170W～約240W	標準付属品	ホース……………1本
吸込仕事率 [※]	620W～約100W		エアークラップ……………1個
運 転 音	65dB～約60dB		延長管……………1本
集じん容積	0.4L	付属応用部品	お手入れブラシ……………1個
コードの長さ	5m		すき間用吸口……………1個
質 量	5.4kg(標準付属品を含む)		別売り部品接続用アタッチメント……………1個
			ティッシュペーパー……………1枚

※吸込仕事率は、ティッシュペーパー非装着時のものです。

抗菌効果	部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称	試験結果(抗菌活性値)
	フィルター	一般財団法人ポークン品質評価機構	JIS L 1902に基づく	繊維に練り込み	不織布	2.0以上

※抗菌活性値が2.0以上で抗菌効果があるとされています。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

ご購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111